

日本初<sup>※1</sup>赤ちゃんを360°全方位から守る  
「クルリラ プラス 360° セーフティー」  
最新安全規則「R129<sup>※2</sup>」適合の  
「ゆったり」快適、回転式イス型チャイルドシート  
2019年3月下旬 新発売



アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社（本社：大阪市中央区、社長：前田英広）は、最新安全規則「R129<sup>※2</sup>」適合の回転式イス型チャイルドシートから、赤ちゃんを360°全方位から守る「クルリラ プラス 360° セーフティー」を新発売します。

2019年3月下旬から全国のベビー用品専門店・百貨店・ネットショップなどで販売します。

<https://www.aprica.jp/products/childseat/cururila360/>

今回の新製品は、側面（ドア側）からの衝撃も考慮した国際的な最新安全規則「R129<sup>※2</sup>」に適合した、回転式イス型チャイルドシートに、両サイドに装備された頑丈なプロテクターの「サイドシールド」と未熟なからだを頭から足先まで守る「全身マモールクッション」を新たに装備したものです。赤ちゃんを360°全方位から守る、最上級の安全と「ゆったり」快適を実現します。

昨年12月上旬より販売を開始したベッド型チャイルドシート「フラディア グロウ ISOFIX 360° セーフティー」に引き続き、赤ちゃんのことを第一に考える企業として開発しました。

## 【本製品の特長『360° セーフティー』機能】

日本初<sup>※1</sup>

### 360° セーフティー



新安全規則「R129<sup>※2</sup>」適合、  
 “サイドシールド”と“全身マモールクッション”を新たに装備。  
 赤ちゃんを360°全方位からやさしくしっかり守る、最上級の安全を実現しました。



ドア側の衝撃からの守りを強化

#### サイドシールド

両サイドに装備された頑丈なプロテクターで、ドア側からの強い衝撃を軽減。赤ちゃんを安全に守ることができます。



\*ドア側のサイドシールドを開いてください。

未熟なからだを頭から足先まで守る

#### 全身マモールクッション

頭部を包み込むヘルメットのような構造のクッション、からだの側部を守るサイドクッション、さらに足まで包み込むことで、赤ちゃんの未熟なからだを徹底的に守ることにこだわっています。



\*身長60cm以下まで有効です。

## 新安全規則

### 「R129<sup>※2</sup>」適合、だから安全に守れる。

「R129<sup>※2</sup>」では、側面からの衝撃に対しても赤ちゃんの安全性を確認するために、側面衝突試験が追加。アプリーカのチャイルドシートは、いち早くこの「R129<sup>※2</sup>」に適合しました。



#### 「R129<sup>※2</sup>」が赤ちゃんを守ってくれる5つの理由

##### 1. 前後だけでなくドア側の衝撃からも守れる

「R129<sup>※2</sup>」では、直接衝撃を受けやすい側面（ドア側）からの衝突試験が規則化。さらに安全に赤ちゃんを守れるようになりました。



##### 2. 身長に合わせて使うからよりフィットして安全

体重に合わせて使うこれまでの規則から、個人差の少ない身長で合わせるようになったため、より赤ちゃんにフィットして安全です。

##### 3. 未熟なからだをより長期間<sup>※3</sup>後向きシートで守る

からだの未熟な赤ちゃんにとって、前向きより衝撃の負担が少ない後向き<sup>※4</sup>での使用期間が延長。さらに長くしっかり守れるようになりました。

##### 4. 未熟なからだへの影響も考えているから安全

より人体に近い新生児ダミー人形で衝撃試験を実施。衝撃による影響度が「R129<sup>※2</sup>」規の安全な範囲内に収まるように考えられているから安心です。

##### 5. 「ISOFIX」で確実に取り付けできるから安全

黄色のコネクターを差し込むだけで、カンタン確実に取り付けできます。誤った取り付けを防いで、より安全に赤ちゃんを守れます。



## 【アプリーカのイス型チャイルドシートの特長】

赤ちゃんが「ゆったり」快適に過ごせる回転式イス型チャイルドシートです。

### ゆったり快適



#### ゆったり内角130度<sup>※5</sup>

自然な姿勢で首やおなかへの負担をやわらげます。



＜イメージ＞



#### 三次元スプリング構造体 プレスエア<sup>®</sup>

体圧分散機能と通気性に優れたクッション材。長時間ドライブでも快適に過ごせます。



「三次元スプリング構造体  
プレスエア<sup>®</sup>」は東洋紡  
株式会社の登録商標です。



#### ひろ～いシート

からだが大きくなっても、ゆったりサイズです。



#### アプリーカだけ<sup>※6</sup> フットステップ

大きくなったら足をのせられるので、姿勢が安定します。



#### 紫外線カット率99%以上<sup>※7</sup> すっぽりまも～るシェード

皮膚が薄く紫外線や日差しに敏感な赤ちゃんを守るため、顔・体をしっかりカバーします。

### しっかり守る



#### マシュマロ Gキャッチ

驚異の衝撃吸収力で、  
赤ちゃんの頭をやさしく、  
しっかり守ります。

衝撃力  
70%<sup>※8</sup>  
カット



＜イメージ＞

#### 驚異の衝撃吸収力



一般的なウレタン マシュマロGキャッチ

各クッション材(厚さ2cm)に高さ60cmから硬木  
錘を落下させた場合、当社調べ

アプリーカでは創業以来、「赤ちゃん医学」と「育児工学」の研究に基づき、常に赤ちゃんの事を第一に考えた製品作りを基本としています。今後も、チャイルドシートにおいては、万一の事故の際に大切な赤ちゃんの命を守るために、常により高い安全性を目指すものづくりに取り組んでまいります。

- ※1 UN 規則 No.129 適合チャイルドシート。「クルリラ R129」の実績による（2016年5月）。日本国内で販売されている新生児から使える回転式イス型チャイルドシートにおいて、「クルリラ プラス 360°セーフティ」は「クルリラ R129」の後継品です。
- ※2 UN 規則 No.129（改良型幼児拘束装置）
- ※3 旧規則(R44)では 使用期間の制限が体重のみ（体重 9kg 以上）であり、月齢 12 カ月頃から前向き使用が可能であったが、最新規則(R129)では、身長制限（身長 76cm 以上）のみならず明確に月齢の制限が定められており、15 カ月を超えるまで前向きで使用することを禁止されていることによる。
- ※4 前面衝突時には赤ちゃんが背もたれ全体で衝撃を受けるので前向きより、後ろ向きの方が衝撃からの負担が軽減される。
- ※5 3kg ダミーの着座姿勢を 3D モデルで再現させ、頭部・臀部・足部を線で結んだ角度（産総研 DhaibaWorks により分析）。赤ちゃんの着座状況で異なる場合があります。
- ※6 日本国内で販売されているフットステップ付回転式チャイルドシート。2018年7月現在。アプリーカ調べ。
- ※7 シェード部において、メッシュ部を除く。
- ※8 2.75kg の重りを高さ 50mm から厚さ 40mm の衝撃吸収材（素材のみ）に落下させた場合。当社従来素材との比較。アプリーカ調べ。

## 【製品概要】

製品名	クルリラ プラス 360° セーフティー	
カラー	ブラウンストーン BR 	ブルーストーン BL 
メーカー希望小売価格	60,000 円 (税込 64,800 円)	
使用期間 (身長)	後向きシート：身長 40cm～83cm まで 前向きシート：身長 71cm～100cm まで * 15 カ月未満は前向きで使用できません。* 17.5kg を超えるお子さまには使用できません。	
重量	15.2kg * 製品重量にはすっぽりまも～るシェード（幌）は含みません。	
サイズ (mm)	後向き時 (mm) W440×D726～786×H546～599 前向き時 (mm) W440×661×719～776 * 製品サイズには、レッグサポート、すっぽりまも～るシェード（幌）は含みません。	
製品情報 URL	<a href="https://www.aprica.jp/products/childseat/cururila360/">https://www.aprica.jp/products/childseat/cururila360/</a>	

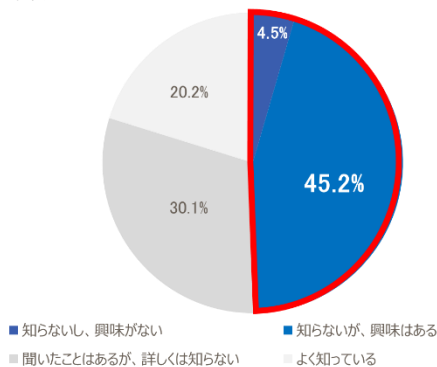
## 【ご参考】

### ■ママたちのチャイルドシートに関する意識（アプリカ調べ）

アプリカがママたちのチャイルドシートに関する意識を調査したところ、チャイルドシートには、安全性に関する複数項目の試験に合格した製品が認可を付与される「安全規則」というものがありますが、その最新安全規則についての認知度を調べたところ、知らない人が約5割という結果となりました。

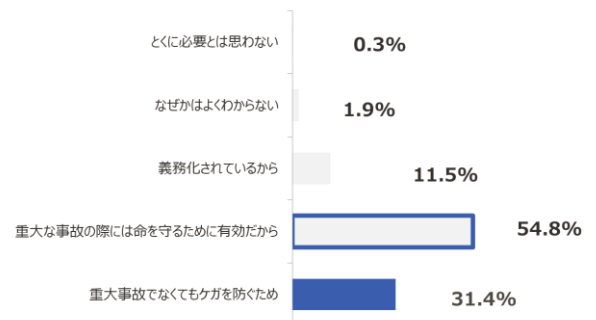
また、そもそもなぜチャイルドシートは必要かを尋ねたところ、重大事故からの命を守るために必要と感じているママは54.8%に対して、重大事故でなくてもケガを防ぐためと回答したママは31.4%で、日常的に安全を確保するためにチャイルドシートが必要だと思っているママは少ない状況でした。

質問：チャイルドシートに最新の安全規則があることを知っていますか？  
(N=312、単一回答)



最新の安全規則があることについて知らない人が約5割

質問：チャイルドシートはなぜ必要ですか？  
(N=312、単一回答)

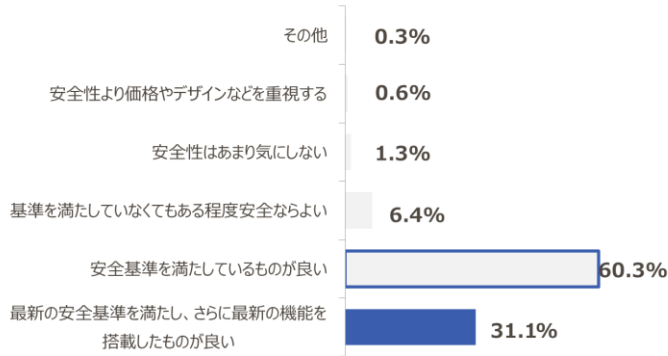


重大事故でなくてもケガを防ぐためといっているママは31.4%



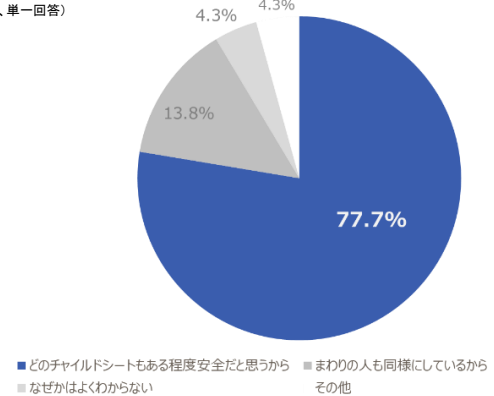
また、チャイルドシートの安全性については、安全基準を満たしているものがよいと回答したママは 60.3%に対して、**最新の安全基準を満たし、さらに最新の機能を搭載したものがよいと回答したママは 31.1%**で、最高水準を要求するママは少ないといえる状況でした。この質問の中で「安全基準を満たしているものがよい」と回答したママの**約 8 割は、どのチャイルドシートも安全面で違いがない**と思っていることもわかりました。

質問：チャイルドシートの安全性についてどのように考えていますか？  
(N=312、単一回答)



しかも、最新の安全規則、つまり最高水準を要求するママは**31.1%**

質問：「安全基準を満たしていればよい」と回答の理由  
(N=188、単一回答)



**ママの約8割は「どのチャイルドシートも安全面で違いがない」と認識している。**

調査方法：インターネットを利用したアンケート調査（アプリカ調べ）

実施期間：2018年9月18日～10月10日

対象：全国（北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県）在住の2才以下の子どもがいる、かつ車を月1回以上利用している、20歳～39歳の女性

有効サンプル数：312

### 【アプリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社について】

ベビーカー、チャイルドシート、抱っこひも、室内品などを展開する育児用品メーカー。1947年、日本での創業以来70周年を超えた現在も、小児医学・心理学・育児学などを通してまだ話すことのできない赤ちゃんの体と心を研究する「赤ちゃん医学」と、育児の知識と最新の工学技術を融合させて理想の育児環境づくりに生かす「育児工学」を通じて、赤ちゃんに理想的な育児環境を追求し続けています。

2008年には、米国ニューウェル・ラバーメイド（現ニューウェル・ブランズ）グループの一員となり、「アプリカ」ブランドに加え、世界80カ国以上で愛されるアメリカ発のベビーブランド「グレコ」、「ベビージョガー」も展開しております。

### 【お問い合わせ先】

アプリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社 お客様サポートセンター  
TEL：0120-415-814 受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）